

2023年2月7日
日本郵便株式会社

日本郵便における「+エコ郵便局」の取り組み
— 木質バイオマスを活用した熱利用設備の導入 —

日本郵便株式会社（東京都千代田区、代表取締役社長兼執行役員社長 衣川 和秀）は、『JP ビジョン 2025』のもと、郵便局ネットワークを活用し、電力会社などと協力して実施している充電設備や太陽光発電設備の設置、郵便局の電力の再生可能エネルギーへの切り替え、CLT^(注)や太陽光発電設備などの再生可能エネルギーを利用する、より環境に配慮した「+エコ郵便局（環境配慮型郵便局）」の開局などにより、地域のカーボンニュートラル化の推進に取り組んできました。

この度、当麻郵便局（北海道上川郡当麻町）において、当麻町産木材などを活用したCLTを利用するとともに、郵便局としては初めて、木質バイオマスを活用した熱利用設備（チップボイラー）と、積雪期も発電が可能な壁面設置型の太陽光発電設備を導入し、新たな「+エコ郵便局」として2023年2月27日（月）に移転・開局します。

木質バイオマスで生み出した熱や太陽光により発電した電力は、主に郵便局の暖房や日常電力として利用します。郵便局で複数の再生可能エネルギーを利用し、消費するエネルギーを自ら創出することで、CO₂の発生を抑制します。

また、熱利用設備の燃料は、当麻町および当麻町森林組合にご協力いただき、地域で生産された木質チップを利用することで、地域資源の活用にも貢献します。

こうした取り組みを今後も推進し、郵便局ネットワークを活用して、2030年度までに温室効果ガスの2019年度比46%削減を目指すとともに、更なる地域のカーボンニュートラル化の推進に貢献してまいります。

【「+エコ郵便局」当麻郵便局の取り組み】

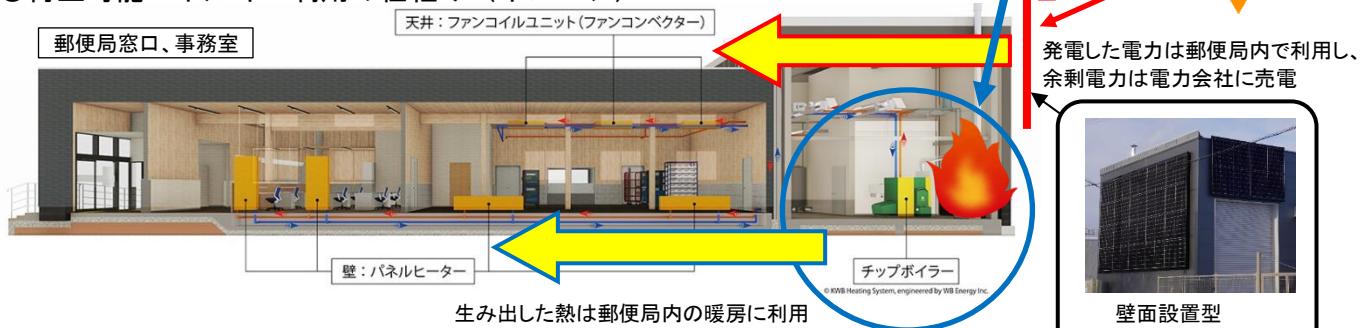
○外観



○窓口ロビーの様子



○再生可能エネルギー利用の仕組み（イメージ）



（注）CLT：クロス・ラミネイティッド・ティンバー

長い板状の木材を縦横交互に張り合わせた厚型のパネルで、強度や断熱性に優れており、コンクリートや鉄に比べてCO₂の発生を抑制するもの。

(参考 1) 「+エコ郵便局」の設置状況（開局日順）

郵便局名	所在地	開局日	取り組み内容
丸山	千葉県南房総市	2022年3月22日(火)	CLT利用、太陽光発電
宗像東郷	福岡県宗像市	2022年11月7日(月)	CLT利用、太陽光発電
糸崎	広島県三原市	2022年12月5日(月)	CLT利用、太陽光発電
伊予	愛媛県伊予市	2023年1月23日(月)	CLT利用、太陽光発電 (太陽光は2023年度設置)
城山	神奈川県相模原市	2023年1月30日(月)	CLT利用、太陽光発電
一身田	三重県津市	2023年2月13日(月)	CLT利用、太陽光発電
当麻	北海道上川郡当麻町	2023年2月27日(月)	CLT利用、太陽光発電 木質バイオマス熱利用
仙台生出	宮城県仙台市	2023年3月6日(月)	CLT利用、太陽光発電

(参考 2) 全国の「+エコ郵便局」

【丸山郵便局】



【宗像東郷郵便局】



【糸崎郵便局】



【伊予郵便局】



【城山郵便局】



【一身田郵便局】



以上

【お客さまのお問い合わせ先】

日本郵便株式会社

お客様サービス相談センター

0120-23-28-86 (フリーダイヤル)

携帯電話から 0570-046-666 (有料)

※ガイダンスが流れますので、「*」のあとに「4」を選択してください。

<受付時間 平日 9:00~21:00
土・日・休日 9:00~17:00>